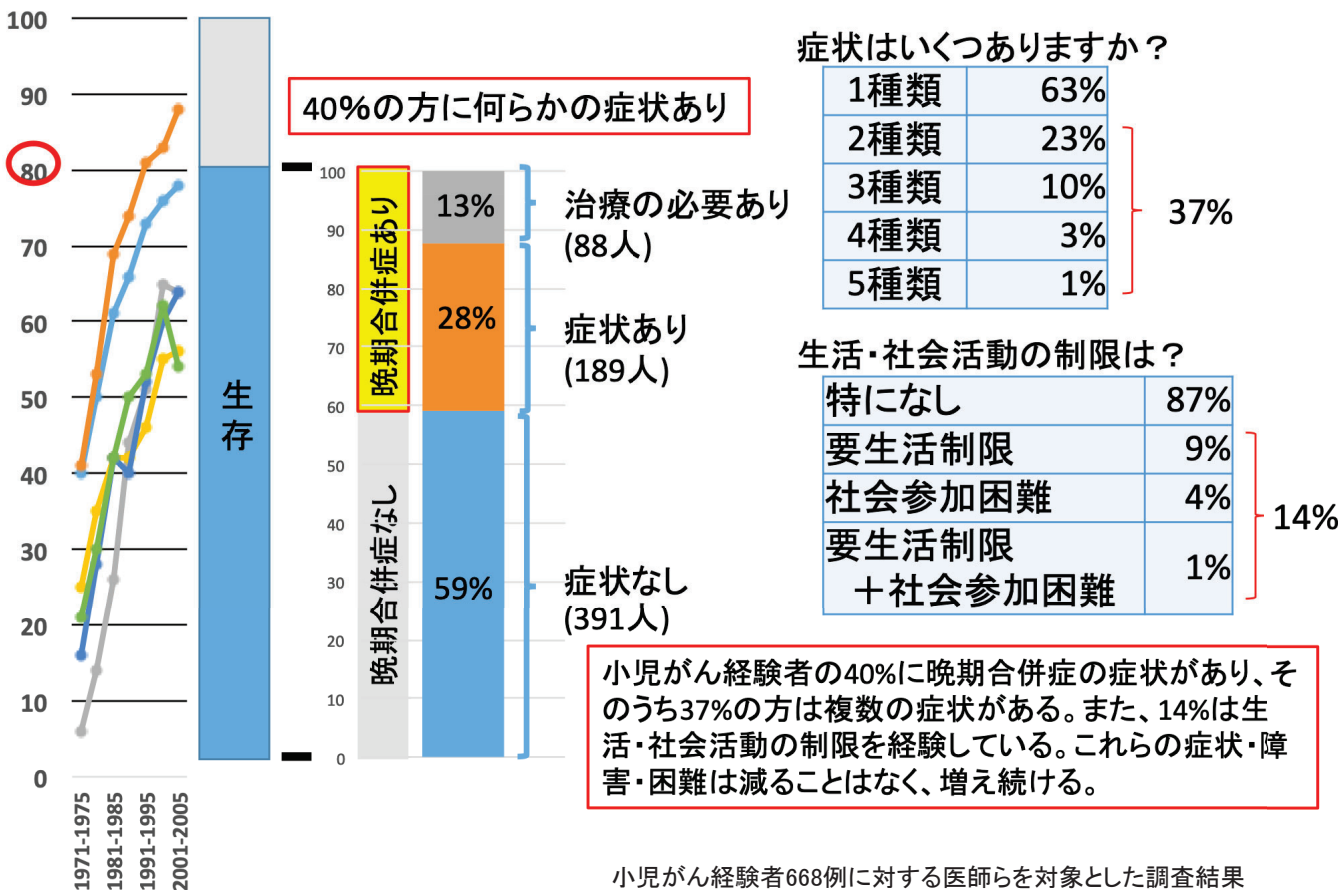


小児がん長期フォローアップについて

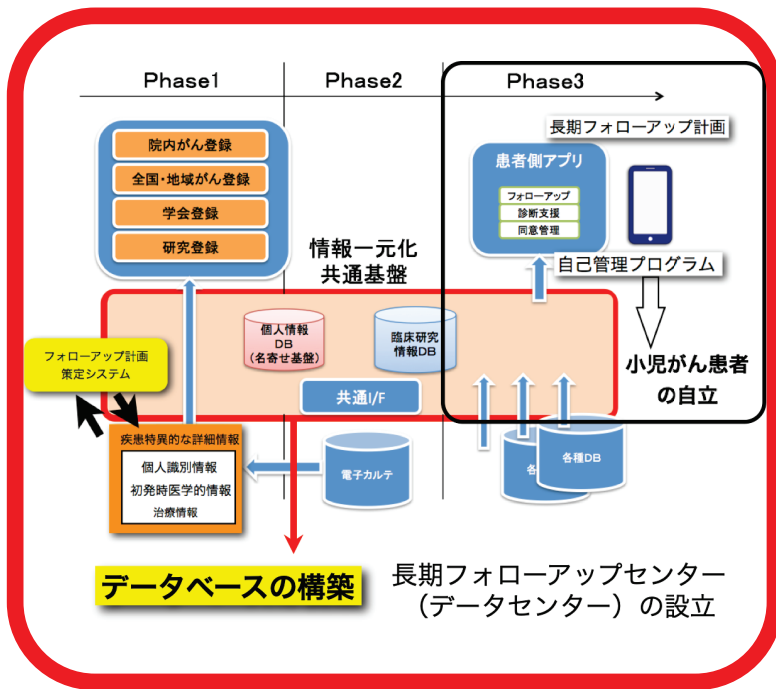
国立成育医療研究センター 小児がんセンター
松本公一

2023.1.26 小児がん拠点病院連絡協議会

小児がん生存率80%:その実態は？



長期フォローアップに必要なこと



長期フォローアップ計画提供の仕組み作り

学会との協同により長期フォローアップのガイドラインを策定し、小児がん治療内容によって長期フォローアップ計画を策定するようなシステムを検討する必要がある。



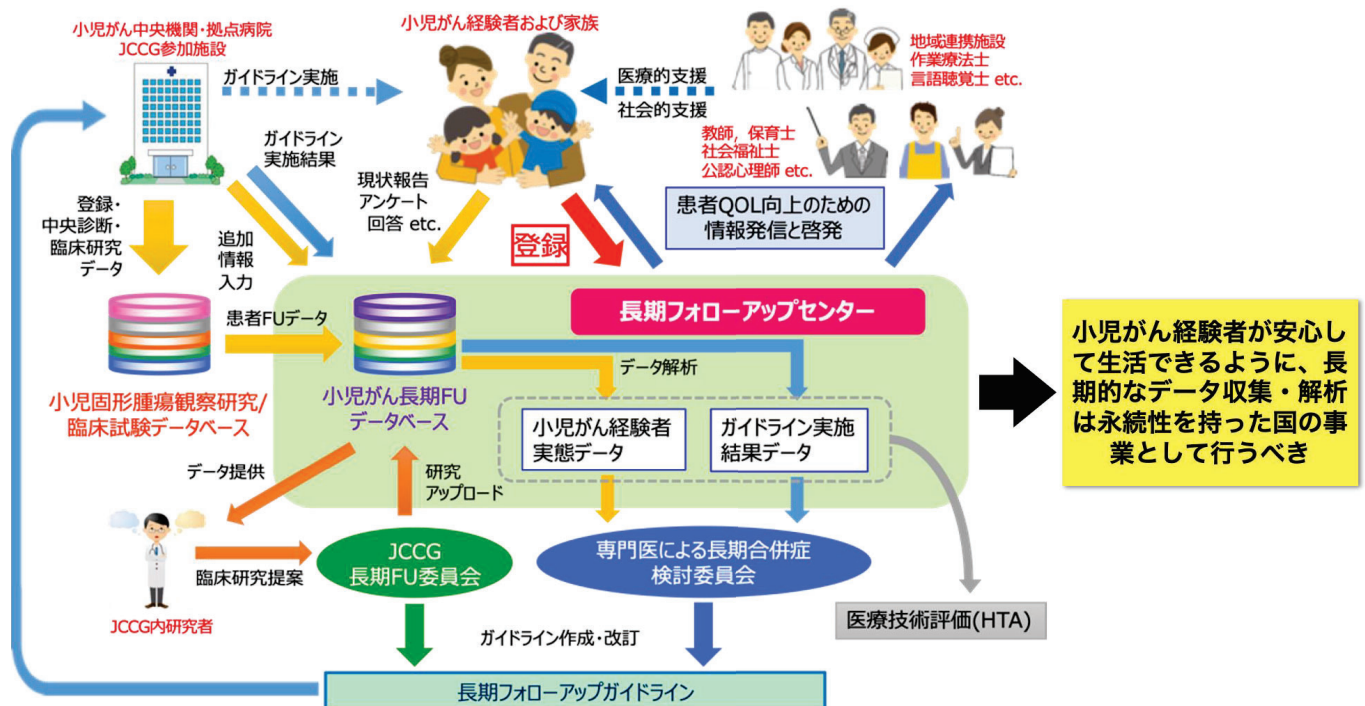
長期フォローアップ外来の整備

長期フォローアップ外来は設置されているものの、従来の外来との差異がない施設が多い。小児がん専門看護師の配置など、内容の充実が求められる

2016年7月6日 第58回がん対策推進協議会 資料より

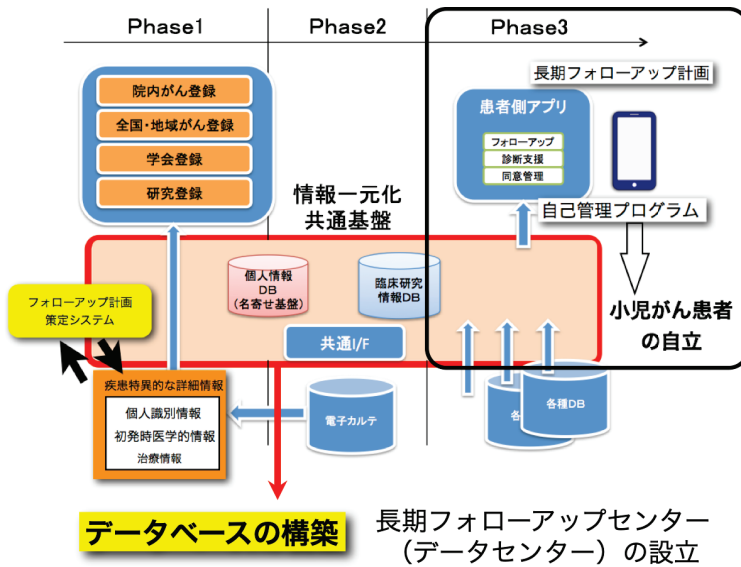
<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10904750-Kenkoukyoku-Gantaisakukenkouzoushinka/0000131632.pdf>

全国規模で前向きの情報収集・発信を行う 長期フォローアップセンターのインフラ整備が必要



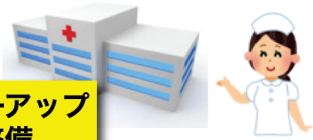
厚労科研：小児がん拠点病院等及び成人診療科との連携による長期フォローアップ体制の構築のための研究（長期iFU松本班）2020 研究計画書より

長期フォローアップに必要なこと



長期フォローアップ計画提供の仕組み作り

学会との協同により長期フォローアップのガイドラインを策定し、小児がん治療内容によって長期フォローアップ計画を策定するようなシステムを検討する必要がある。



長期フォローアップ外来の整備

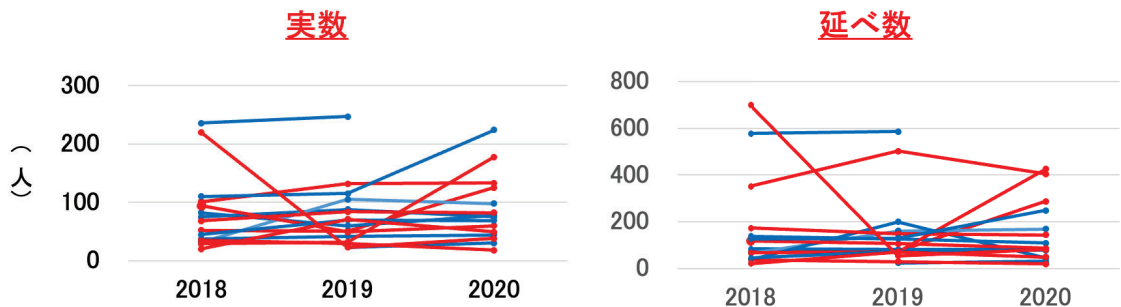
長期フォローアップ外来は設置されているものの、従来の外来との差異がない施設が多い。小児がん専門看護師の配置など、内容の充実が求められる

2016年7月6日 第58回がん対策推進協議会 資料より

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10904750-Kenkoukyoku-Gantaisakukenkouzoushinka/0000131632.pdf>

長期フォローアップ外来の整備

施設差が大きい



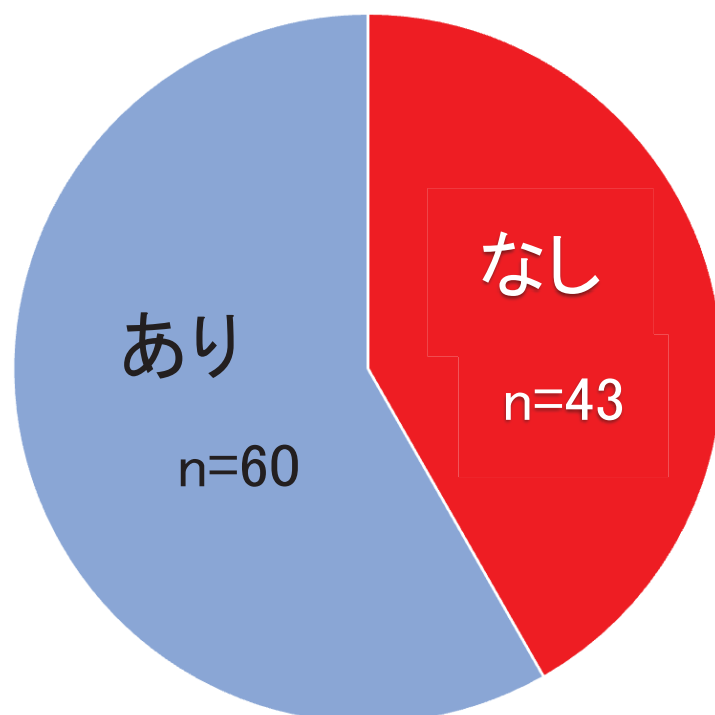
| | 2018 | 2019 | 2020 |
|-----|------|------|------|
| 最大値 | 236 | 247 | 224 |
| 中央値 | 68 | 65 | 75 |
| 最小値 | 20 | 23 | 18 |

| | 2018 | 2019 | 2020 |
|-----|------|------|------|
| 最大値 | 700 | 586 | 405 |
| 中央値 | 84 | 93.5 | 86 |
| 最小値 | 20 | 23 | 19 |

2021年度小児がん拠点病院QI算定値 より

小児がん拠点病院では長期フォローアップ外来の整備が進んでいる

小児がん連携病院(類型1)の 長期フォローアップ外来整備状況



2021年度小児がん連携病院QI算定値 より

厚生労働省委託事業

小児・AYA世代のがんの 長期フォローアップ体制整備事業



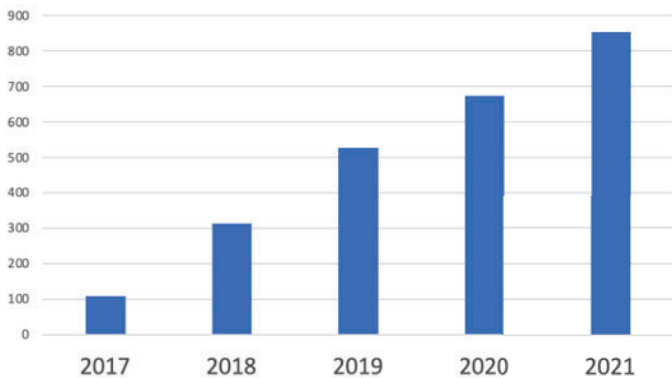
 一般社団法人 日本小児血液・がん学会
The Japanese Society of Pediatric Hematology/Oncology

e-Learningの講義内容

| No | 講義内容 |
|----|-----------------------------|
| 1 | 小児がん・AYA世代がんの長期フォローアップ総論 |
| 2 | 晩期合併症各論1 (治療別合併症/臓器別合併症) |
| 3 | 晩期合併症各論2 (認知機能/心理/社会/家族の心理) |
| 4 | 健康管理・がん検診 |
| 5 | 移行期支援 |
| 6 | 小児がん・AYA世代がん治療と男性の妊孕性、妊孕性温存 |
| 7 | 小児がん・AYA世代がん治療と女性の妊孕性、妊孕性温存 |

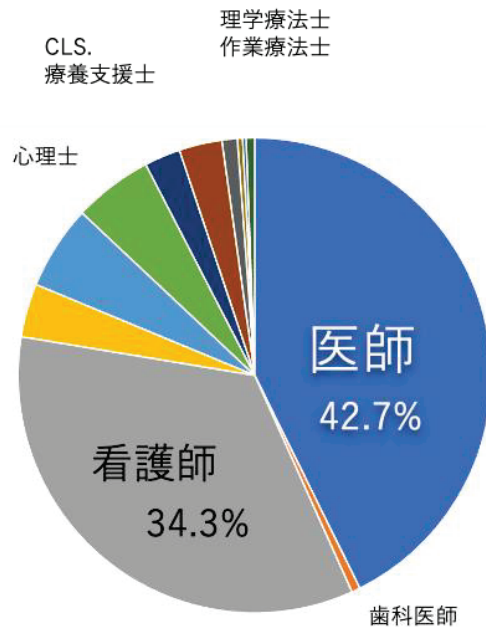
LCAS研修受講者の内訳

累積LCAS受講者数



ソーシャルワーカー

薬剤師



参加者は医師と看護師で全体の75%を占めるが、その他の職種の参加が少ない。

拠点病院の皆さんにお願いしたいこと

JCCG大規模観察研究にできる限りの症例登録をお願いいたします。
今後、それを土台とした前向きフォローアップ研究を開始する計画です。

長期フォローアップに関して、拠点病院・連携病院の実態についてアンケート調査を実施します。ご協力をお願いいたします。

長期フォローアップ研修会(LCAS)に関して、主幹を担当されていない施設での開催をお願いいたします。また、多職種の参画を進めて、成人診療科との連携も積極的に推進してください。